

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第四中学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。 (※夏季休業期間の変更に伴う教育課程編成の工夫を含む)	B	重点目標である「主体的、対話的で深い学び」に向けた指導方法の工夫・改善に組織的に取り組んだ。	A	・全教職員が学力向上、体力向上に向けて、教育目標を理解し、取り組んでいた。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	B	危機管理マニュアルや安全計画のもと、点検活動や保護者と連携した校外パトロールにより、危機管理意識を喚起できた。	A	・宿の事故によるスキー教室の期日・場所変更等の緊急時の対応が適切であった。 ・アンケートをとるなど、実体把握に努めていた。 ・いじめ未然防止・早期対応に適切な体制を確立している。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	授業における復習プリントや反復練習や、定期テスト前の放課後の補習により、基礎的・基本的内容の確実な定着ができた。	A	・全ての生徒が真面目に学習に取り組んでおり、授業にも工夫がみられた。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	各教科において生徒の実態に即した学力向上プランを策定し、授業の中で指導方法の効果の検証を行い、組織的に改善することができた。	A	・習熟度別授業を展開するなど、生徒の実態に即した授業が行われていた。 ・各種学力調査の結果から先生方の指導の成果が現れている。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	埼玉県学力・学習状況調査の生徒質問紙の結果からも、自らを律している生徒がほとんどであり、県や市と比較しても高いレベルである。	A	・朝や帰りのあいさつが、気持ちよく見受けられます。 ・気持ちよいあいさつができる生徒が多かった。 ・学校内の清掃がきちんとできている。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	生活アンケートの実施や、学校朝礼における校長の講話、生徒指導担当からの話により、生徒の実態に即した指導ができており、効果が現れている。	A	・教室の掲示物がきちんとしており、清潔が保たれ、規律が図られている。 ・生徒の礼儀正しさや好ましい清掃状況は、先生方の指導のたまものだと思う。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	B	保健体育の授業では、興味関心を高める指導を行い効果があった。また、体育委員会主催である昼休みの校庭開放や校内ダンス発表会など、体を動かす機会を多く設けた。	A	・体育祭等の学校行事は大変に盛り上がり、先生方の熱意を感じた。 ・部活動等朝練の様子、体育祭の様子から、意欲的に取り組んでる姿がみられる。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	授業において、個に応じた補強トレーニングや、一人一人に目的を持たせ取り組ませ、体力向上を目指した。	A	・目標を立てて教職員が取り組んでいた。 ・自らを高めている生徒の様子は、先生方の指導のたまものだと思う。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	朝霞西高校から本校への出前授業、朝霞高校から本校への授業参観、本校から朝霞第八小学校への歌唱披露の実施等、小中高の相互的な連携や、校区のふれあい祭りを通して地域との連携を深め、教育力を生徒に還元している。	A	・風通しの良い教育環境が整えられている。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	毎月の「あいさつ運動」では、スクールガードである地域の民生委員・児童委員により、登校する生徒への声かけをしていただいた。また、保護者と本校職員による校外パトロールを通して、学校は地域・保護者と連携している。	A	・小中連携が更にできたらいいと思います。 ・地域とも連携がよく図られていた。地域の行事にもよく参加している。 ・あいさつ運動・ふれあい祭り等、保護者・地域・学校との協力・連携が強固である。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満